

安全データシート

作成日 2001年4月2日
改訂日 2023年12月5日

製品名 PMC-10

1. 製品情報及び会社情報

製品名: PMC-10
会社名: 株式会社ヴェルヴォクリア
住所: 東京都文京区大塚6-11-16
担当部署: 営業部
電話番号: 03-3943-4156
FAX番号: 03-3943-8050
緊急連絡先電話番号: 03-3943-4156

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS分類

健康に対する有害性:

- ・急性毒性(経皮): 区分5
- ・皮膚腐食性/刺激性: 区分1A
- ・眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分1
- ・呼吸器感作性: 区分1
- ・皮膚感作性: 区分1
- ・生殖毒性: 区分2
- ・特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分1(神経系、肝臓)
区分2(中枢神経系)
- ・特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分2(神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、呼吸器)

環境に対する有害性:

- ・水生環境有害性 短期(急性) 区分2
- ・水生環境有害性 長期(慢性) 区分3

(注) 物理化学的危険性、健康有害性、環境有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類できない」又は「区分に該当しない」である。

2.2 GHSラベル要素

・シンボル:



・注意喚起語:

・危険有害性情報:

危険

皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮)
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
神経系、肝臓の障害
中枢神経系の障害のおそれ
長期又は反復ばく露による神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓
呼吸器の障害のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に有害

・注意書き:

安全対策:

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
ミスト、蒸気、スプレーを避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置:	吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 眼に入った場合: 水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断、手当てを受けること。
保管:	直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に施錠して保管すること。
廃棄:	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

・単一製品・混合物の区別:	混合物
・含有成分及び含有量:	非イオン系界面活性剤、アミン類、脂肪酸、金属イオン封鎖剤 水溶性溶剤、水
・化審法:	各成分登録有
・労働安全衛生法:	2-アミノエタノール(10～20%未満含有) ジエチレングリコールモノブチルエーテル(10～20%含有)
・PRTR法:	2-アミノエタノール ポリオキシエチレンアルキルエーテル
・毒物及び劇物取締法:	非該当

4. 応急措置

・飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 嘔吐が自然に生じた時は、気管への吸入が起きないように身体を傾斜させる。 嘔吐後は水を飲ませる。 意識がない時は、何と与えないこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
・皮膚に付着した場合:	直ちに、汚染された衣類、靴などを脱ぐ。 多量の水と石鹸で洗う。 医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
・眼に入った場合:	水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 医師の診断、手当てを受けること。 眼刺激が焼失しても、遅れて障害が現れることがあるので、医師の診断を受けること。
・吸入した場合:	直ちに、被災者を新鮮な空気のある場所に移すこと。 必要に応じて、被災者を毛布等で覆い、呼吸しやすい姿勢で安静にし、医師の処置を受ける。
・暴露または暴露の懸念がある場合:	医師の診断、手当てを受けること。
・応急措置者の保護:	救助者は、ゴム手袋等の適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

・使用可能な消火器:	粉末消火薬剤、水噴射、泡消火薬剤、二酸化炭素
・危険有害性:	火災中に熱分解し、刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
・消火方法	危険でなければ容器を安全な場所に移動させる。 移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
・消火者の保護:	消火作業では、適切な保護具(空気呼吸器、化学用保護衣)を着用する。 有害ガス等の接触を避けるため、消火作業は風上から行う。

6. 漏出時の措置

・人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	漏洩区域に立ち入る際には必ず保護具(手袋・眼鏡・マスク等)を着用し、皮膚や眼などへの接触や吸入を避ける。 適切な保護具を着用していない場合は、破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 漏洩区域は、関係者以外の立ち入りを禁止する。 風上から作業し、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。
-------------------------	---

密閉された場所に立ち入る際は、事前に換気する。

・環境に対する注意事項：

漏出物を河川や下水、土壌に排出してはならない。

・封じ込め及び浄化方法及び機材：

少量の場合は、漏洩物を掃き集め、空容器に回収し、その後廃棄処理する。

多量の場合は、土嚢等で封じ込め、おがくず等に吸収させ回収する。その後廃棄処理する。

・二次災害の防止策：

事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。

漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

・取扱い上の注意：

取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。

取り扱う場合は、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用すること。

この製品を使用する時に、飲食や喫煙をしないこと。

眼及び皮膚への接触を避けること。

作業場の換気を十分行うこと。

眼、皮膚に触れないよう適切な保護具を着用し、出来るだけ風上から作業を行うこと。

取扱い後は、手、顔等をよく洗うこと。

・保管上の注意：

直射日光を避け、密閉し冷暗所に貯蔵すること。

施錠して保管すること。

破損を防ぐため、乱暴な取り扱いをしない。

使用後は、速やかに容器を密閉し、異物が混入しないようにする。

8. 暴露防止及び保護措置

・管理濃度：	設定されていない。
・許容濃度：	日本産衛学会 未設定
	ACGIH 未設定

・設備対策：	ミスト、蒸気が発生する場合は、換気装置を設置すること。 取扱い場所の近くに、洗眼器と全身シャワーを設置すること。
--------	---

・保護具：	
呼吸器用保護具	呼吸器保護具
眼の保護具	保護眼鏡(ゴーグル型)
手の保護具	保護手袋(ゴム手袋)
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣を着用する。必要に応じて、保護前掛け、保護長靴、安全帽を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

・形状：	液体	・色：	無色～淡黄色透明液体
・臭い：	僅かな臭気	・pH：	10.7(代表値)
・融点、凝固点：	データなし	・沸点、初留点：	データなし
・引火点：	データなし	・爆発限界：	データなし
・蒸気圧：	データなし	・比重：	データなし
・溶解度：	水に易溶	・n-オクタノール/水分分配係数	データなし
・自然発火温度	データなし	・分解温度：	データなし

10. 安定性及び反応性

・化学的安定性：	通常の手扱いにおいては安定である。
・危険有害反応可能性：	強酸と激しく反応する。
・避けるべき条件：	高温、加熱
・混触危険物質：	強酸
・危険有害な分解生成物：	通常の下条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

【各項目については、各成分SDSの情報を基に、計算または含有量から分類を行った】

・急性毒性:	経口: 区分に該当しない 経皮: 区分5
・皮膚腐食性/刺激性:	区分1A
・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	区分1
・呼吸器感作性:	区分1
・皮膚感作性:	区分1
・生殖細胞変異原性	情報不足のため「分類できない」
・発がん性:	情報不足のため「分類できない」
・生殖毒性:	区分2
・標的臓器/全身毒性(単回暴露):	区分1(神経系、肝臓) 区分2(中枢神経系)
・標的臓器/全身毒性(反復暴露):	区分2(神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、呼吸器)
・誤えん有害性:	情報不足のため「分類できない」

12. 環境影響情報

【各環境有害性については、各成分SDSの情報を基に、計算または含有量から分類を行った】

・水生環境有害性 短期(急性):	区分2
・水生環境有害性 長期(慢性):	区分3
・オゾン層への有害性:	モントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため 分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

- ・残余廃棄物:
関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して
廃棄物処理を委託する。
- ・汚染容器及び包装:
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
廃棄物処理業者に委託する場合、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内規制:

- ・海上輸送: 船舶安全法の規定に従う。
- ・航空輸送: 航空法の規定に従う。
- ・陸上輸送: 道路法の規定に従う。

注意事項:

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、濡れ、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

- ・消防法: 非該当
- ・労働安全衛生法: ●名称等を表示、又は通知すべき危険物及び有害物(ラベル表示・SDS交付義務対象物質)
2-アミノエタノール(10~20%未満含有)
ジエチレングリコールモノブチルエーテル(10~20%含有)
- ・PRTR法: 2-アミノエタノール(第一種指定化学物質)
ポリオキシエチレンアルキルエーテル(第一種指定化学物質)
- ・毒劇法: 非該当

16. その他の情報(引用文献等)

- ・SDS用化学物質データベース(塗料用)第6版塗料用GHS簡易ソフト 社団法人 日本塗料工業会
- ・GHS対応ガイドライン ラベル及び表示。安全データシート作成指針 日本化学工業協会
- ・GHS対応ラベルおよびSDSの作成マニュアル 厚生労働省医薬食品局 審査管理課化学物質安全対策室

- ・職場のあんぜんサイト GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報 厚生労働省
- ・16313の化学商品 化学工業日報社
- ・個別成分の安全データシート

※注意

安全データシートは危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により訂正されることがあります。
